

# 第3回 元住吉ミュージックフェスティバル

in 川崎市 国際交流センターホール

最寄駅：東急東横線・東急目黒線  
「元住吉駅」西口徒歩10分  
Add：川崎市中原区木月紙園町2-2  
TEL：044-435-7000

たくさんのアーティストが集い  
ジャズ、クラシック、ロック、アコースティックなどの楽曲が  
一日中生演奏で楽しめる音楽祭です。

**入場無料**

## 元住吉最大の音楽祭

2024年 4月6日(土)  
11:00~20:00

20th 中原区

主催 音楽好きな友の会/MMF実行委員会  
共催 Motton Club  
後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会/(公財)川崎市国際交流協会/(公財)かわさき市民活動センター  
協力 モトスミ・ブレイメン通り商店街振興組合/モトスミ・オズ通り商店街振興組合/井田中ノ町商栄会  
武蔵新城・日光通商店街振興組合  
木月一丁目会/木月二丁目会/木月三丁目会/木月四丁目会  
井田共和会第2町会/井田共和会第3町会/井田共和会第4町会  
ウチデザイン/島倉 学ミュージックスクール/ソウリーヴ・ミュージック・スクール  
(敬称略・順不同)

お問合せ：info@ontomo.jp

詳しくは音友会webをご覧ください →



音楽好きな友の会  
http://ontomo.jp/

後援  
●川崎市中原区  
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
●公益財団法人 川崎市国際交流協会

2024  
2  
February



**島倉 学** クロスオーバー歌手  
富山県富山市出身。国立音楽大学 音楽学部 声楽学科卒業。劇団四季出身。音大在学中にオペラ「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵役でデビューし高い評価を得る。TVや映画にも俳優として多数出演。近年はクラシックコンサートのソリストやミュージカルに出演。これまでに現在活躍中のプロの歌手をはじめ有名ミュージカル俳優、ジュニアなど数多く歌唱指導。劇団スーパー・エキセントリックシアター「アクターズコース」では、歌唱講師として研究生のプロ育成、アクティング・コーチとしてプロの歌手やミュージカル俳優等の歌唱・演技指導を数多く担当。現・島倉 学ミュージックスクール代表講師。元・広瀬香美音楽学校客員講師。元・劇団スーパー・エキセントリックシアター「アクターズコース」歌唱講師。

2024年2月は  
お休みです

### 音友レコード倶楽部

レコードコンサートのプログラムは  
Light music & Jazz Date合同開催

次回は3月20日(水・祝)  
「Light Music(軽音楽の集い)」と  
「持参レコード/CDを楽しむ集い」

- 国際交流センター・レセプションルーム
- 13:15開場/13:30開演
- 参加費：¥1,500(高校生以下¥500)  
※詳しくは03面をご覧ください。

連載53

### そして音楽の旅は続く 歌のスーパースターが 世界に願う...

Hoshino Kai  
ジャズボーカリスト **星乃けい**  
official website  
https://www.hoshinokei.com

装の上にダウンジャケットやブーツを履くなんてNGだし。ところがイントロがスタートすると平気なのよね。きっとお客様にエネルギーをもらってるんだらうなあ。精一杯唄わなきゃ! パートリも増やして、みんなで楽しまなくちゃ。寒くても平気だよって。書いてるうちにポカポカしてきた。書いた。ポカポカで思い出したのですが、先日、ディスコパーティーの合間にジャズの生演奏というお仕事に行きました。私自身、ディスコ世代ですが2回しか行ったことが無く、それも友人の付き添いだったのでディスコ音楽はよく分からないと思っていたのですが、知っている知っている! ステージ脇で存分に楽しめました。特に最後に流れた曲、Stevie Wonderの「Isn't She Lovely」はよかったなあ。私も唄っていますが、Stevieの神歌に溶けてしまいました。大音量の中、たくさんの人達がその曲を楽しんでいる素晴らしい光景! 明るい曲調に明日も頑張れそう! あ〜良い音楽ってすごいんだなあ。あの頃(70〜80年代)Stevieはもちろんですが、他にも素晴らしい大好きなアーティストがたくさんいます。名前を書ききれないので、どんな人達?と聞かれれば、だいたい「We Are The World」の人達です。1985年、アフリカの飢餓と貧困解消を目的にアメリカで発売され

た歌で、45人のアーティストがチャリティーで参加しています。全員が大物、全員が個性的で魅力的。若い方々にはお馴染みではないかもしれませんが、オススメしたい1曲です。曲調の好き嫌いはあると思いますが、大御所が集結して送るメッセージは心に強く響いてきます。あ〜やっぱり良いものは良いんだなあ。ぜひYouTubeで観てみてくださいね。さて、あなたは何人の名前が分かるかな? 私は…最近では人の名前がなかなか出てこないのよね。

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。

音友レコード倶楽部PR動画!  
「音友レコード倶楽部」を  
わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

### 島倉 学ミュージックスクール

驚くほど歌い方が上達する  
「島倉 学メソッド」

歌が人生を変える  
音楽は決して貴方を裏切らない

### 島倉 学ミュージックスクール

プロ志望専門ヴォイス・トレーニング

**30分無料体験レッスン実施中!**

【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分  
島倉音楽スタジオ  
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)  
【お問い合わせ】  
島倉音楽事務所 代表 島倉 学 営業日:火曜〜土曜 12:00〜21:00  
定休日:日曜・月曜

TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-musicschool.com  
HP: https://www.ms-musicschool.com/

### ミニ交流会

「コーラスで多文化共生 心曲悠悠合唱団」

心曲悠悠合唱団の黄程陽団長から「クラウド合唱」の紹介と指導教師の唐雪媛先生から「数字の楽譜」のお話を聞いて、中国の歌や演奏を楽しむオープニングです。

- 日時: 2024年2月17日(土) 14:00~16:00(13:30開場)
- 場所: 川崎市国際交流センター レセプションルーム
- 参加費: 無料(要申込)
- 定員: 50人(先着) 未定員の場合には当日受付も可能
- 申込方法: ホームページ、来館、電話にて

詳しくは、HPをご覧ください。

●お問い合わせ  
川崎市国際交流センター((公財)川崎市国際交流協会)  
TEL 044-435-7000 E-mail: kouryu55@kian.or.jp  
川崎市中原区木月紙園町2-2 【元住吉駅から徒歩10分】  
ホームページ https://www.kian.or.jp/

### 第133回 ランチタイム・ロビーコンサート

La Mer(ラ・メール)

2017年にウクレレとクラシック・ギターを組み合わせたデュオ La Merを結成。各地のイベントで演奏活動を実施。ジャンルを超えて長く親しまれる懐かしい曲を中心に選曲し、弦楽器の軽やかな優しい音色でカバー。オンライン・コンテスト「ウクレレ・ミーティング」2023年ファイナリスト。

●曲目予定  
カベ・ル・ア・コル・エハ  
アメイジング・グレイス  
テネシー・ワルツ  
フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン  
らら♪ミュートン  
やさしさに包まれたなら  
レット・イット・ビー  
他

- 日時: 2024年2月15日(木曜日) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定
- 料金: 無料
- 場所: 川崎市生涯学習プラザ・1Fロビー
- 出演: La Mer(ラ・メール) / ウクレレ、クラシックギター

●お問い合わせ  
(公財)川崎市生涯学習財団 総務系 総務係 ロビーコンサート担当  
TEL 044-733-5560 E-mail: concert@kpal.or.jp  
川崎市中原区今井南町28-41  
ホームページ https://kpal.or.jp/

2月はバレンタインデー

2月は今や定番となったバレンタインデーですが大瀧詠一が作った曲で「ブルー・ヴァレンタインズ・デー」という曲があります。歌詞の内容は意中の子からチョコをもらえそうにない事、そして違う誰かにチョコを渡しているかもしれない事でブルーになるといった内容です。後に作られる「雨のウェンズデイ」等につながっていく青春の一ページのな感じのさわやかな曲で1月から12月までそれぞれの月の曲が収められている「ナイアガラ・カレンダー」というアルバムに入っています。実は山下達郎もアルバム等には収録していませんがYouTubeでこの曲を歌っているのので探してみたいかがでしょうか。

●注意: 2024年2月は都合によりお休みです。次回は3月20日(水)春分の日を予定しています。詳しくは「音友会」のホームページをご覧ください。

- 開催日時: 2024年3月20日(水・祝) 開場: 13時15分 / 開演: 13時30分 / 閉会: 16時30分
- 開催会場: 国際交流センター・ホール ※ソフトドリンク等の持ち込み可
- 参加費: ¥1,500、※高校生以下 ¥500 ※手の消毒、マスクのご持参をお願いします。 ※音友レコード倶楽部PR動画配信中 ※詳しくは「音友会」のホームページからお問い合わせください。▶ https://ontomo.jp

### 2024年3月20日(水・祝) Light Music(軽音楽の集い)のプログラム予告

### 102歳のトランペット奏者/バンドリーダー、レイ・アンソニー楽団

1922年生まれトランペット奏者、レイ・アンソニー。オリジナル・グレン・ミラー楽団の唯一の生き残りでもあります。第二次大戦後、自身のビッグバンドを結成し、1950年代には自身のテレビ番組を持ったり、俳優のケリー・グラントに似たルックスで映画にも度々出演しました。アンソニーのアルバムは、ビッグバンド編成でのスウィング演奏、ストリングスを中心にしたムードミュージック、ラスベガス向けの小編成バンドの演奏などバラエティに富んでおり、それらの一端を聴いていきます。

▲The Hits Of Ray Anthony /Ray Anthony

特別寄稿04

ムールドラムスの女性講師コラム
〜海外でドラム人生奮闘編パート2〜

Muhr Rumi
ムール 瑠美

前回の続き、ロサンゼルスにある音楽専門学校に入学するには自身のドラムのみを録音した音源が必要とのこと、アメリカで友達も知り合いもない中どうやっていいか考えました。もうこの手しかない！学校見学をもう一度お願いして、その際にどうにかドラムがある部屋に入り込み、録音付きカセットテープデッキ(古いですが当時はまだ健在)で素早く録音するしかない！学内には3人ほどの日本人ドラム生徒たちが在籍していたのでとにかくその1人を見つけ次第、練習室を10分ほど借りるように交渉しました。

2回目見学の録音日まではどんなリズムを叩いて自分をアピールするか考えました。スポーツもそうだと思いますが、楽器も自分の演奏を客観的に観察してみると、不思議にそれだけでいい練習になるものです。いざ当日、とても緊張しましたが頭の中でシミュレーションとパッドを叩いてたくさん練習したせいでスムーズに録音することができました。練習ラボを貸してくれた人には今でも大感謝です。無事

音源と申込書を提出。はれてロサンゼルス MI (Musicians Institute) に入学することができました。が、しかしその前にホームステイ先から通うには不便だということで引越をすることに。大型スーパーマーケットに行ってみると、自転車を購入。ハリウッドを自転車で駆け抜けながらアパートを探し続けました。カルフオルニアの日差しはとて強く目に良くないので帽子がサングラスが必須でした。10日目やっと学校が紹介していたチャイニーズシアター近くのワンルームに契約、引っ越すことができました。これでやっと準備が整ったのでした。

さあ、入学1日目。英語はさっぱり分かりませんが、もうそんなことは構いませんし!とにかくこれからドラムと英語を死ぬ気で頑張っていくと強い信念があるので怖いもの知らずでした。まずはクラスに

入ってオリエンテーション的なものがあり、そして練習ラボが割り当てられました。学内には約40個の小さな練習ラボ(各部屋にドラム1台ずつ)がありドラム生徒達はその部屋を交代で自由に24時間練習することができます。私はロシア人とアメリカ人の男の子たちと3人でシェアしながら使うことになりました。

今回は本格的に音楽学校での授業が始まります。「海外でドラム人生奮闘編パート3」お楽しみに。



音友レコード倶楽部Report 持ち寄りタイム(持参レコード/CDを楽しむ集い)2023年12月コンサート

4年ぶりの持参レコード/CDで「クリスマス特集」

Fujita Junji

DJ担当: 藤田 順治

12月の音友レコード倶楽部は 毎年恒例で皆さんとクリスマス音楽を中心にレコード、CDを持ち寄り鑑賞するコンサートを開催していますが、コロナ感染症が蔓延する前、最後の音友レコード倶楽部でクリスマス特集を実施したのが2019年12月です。今回は4年ぶりの実施です。持ち寄りタイムの面白さは、皆さん持参のCDとレコード内容や曲目が一緒、また演奏者が一緒なども有りデジタル、アナログ録音の違いが楽しめる場合があり聴き比べの面白さが有ります。

最初はJポップでクリスマスの定番となってきた感がある1993年に発表された山下達郎のアルバム「Season's Greetings」(写真①)からスタート。このアルバムは以前、発表していたア・カペラのアルバム「ON THE STREET CORNER」のクリスマス・ヴァージョン版で半分は一人ア・カペラ、もう半分はオーケストラとの共演で構成された制作に大変苦労があったそうです。曲はオーケストラとの共演で「ハヴ・ユアセルフ・ア・メリー・リトル・クリスマス」、一人ア・カペラで「サイレント・ナイト」「ホワイト・クリスマス」でうまくバック演奏を使い分けているという印象でした。また、山下達郎は特別限定版等に自身のライブ・バージョンをボーナストラックで付け加える事が多く今回も「Christmas Eve (2019 version)」(写真②)より「クリスマス・イブ」「ベラ・ノッテ」「スモーク・ゲッツ・イン・ユア・アイズ」のライブ・バージョンを聴きました。特に昔、JR東海のCMで使用されたヒット曲「クリスマス・イブ」はトリオ(ピアノ、ベース、ギター)によるアコースティック・ライブの為、新鮮な響きでした。

次はメンフィスに有ったスタックス・レコードから発売のオーティス・レディング等のバック演奏をしていたブッカー・T&ザ・MG'sのクリスマスアルバム「In The Christmas Spirit」より「ウィンター・ワンダーランド」「ホワイト・クリスマス」「ザ・クリスマス・ソング」を聴きました。シンプルなインストゥルメンタル演奏ながらR&B独特の粘り強さを感じられ、一般的なイージーリスニングとは一線を画しています。このグループを聴き始めたきっかけは学生時代にビッグバンドでドラム

を叩いていた同期がこのグループ、特にシンプルな叩き方で定評のあるドラムのアル・ジャクソンが好きでその影響を受けた事によるものです。続けてナット・キング・コールとその愛娘ナタリー・コールの「ザ・クリスマス・ソング」の聴き比べ。ナット、ナタリー共にアルバム名は「The Christmas Song」(写真③、④)でそれぞれ1961年、1991年に発表されています。この曲はヴォーカリストのメル・トーマスが書いた曲として知られており、多くのヴォーカリストによって唄われていますが、1946年、ナット・キング・コール・トリオでの歌唱が最初の録音との事。今日は1961年にストリングスをバックに唄った再録音を鑑賞。1991年のナタリー版も素晴らしく、父へのリスペクトが感じられました。

また冬の曲を集めたフランク・シナトラ・ファミリーの番頭格、ティン・マーティンのホリデー・アルバム名盤「A Winter Romance」より「レット・イット・スノー」「ウィンター・ワンダーランド」。ジャケットデザインも素晴らしく、気分を白銀の世界へと駆り立ててくれました。グレン・ミラー楽団の放送録音集「A Legendary Performer」(1985)より1941年のクリスマス・イブの放送から、バンドテーマ曲「ムーンライト・セレナーデ」に続いて「ジングル・ベル」。太平洋戦争開戦直後の時期ながら、この「ジングル・ベル」は同年10月のスタジオ録音よりこの放送での演奏のほうが楽しく当時のクリスマスの雰囲気を感じることができました。

ビッグバンドによるクリスマス・ソングのコンピレーションアルバム「SILENT NIGHT with THE BIG BAND」(写真⑤)よりチャールイス・ビヴァック楽団による「ホワイト・クリスマス」、クロード・ソーンヒル楽団による「スノー・フォール」、テックス・ベネキ楽団とヴォーカリストのレイ・エバース、コーラスグループのモダネアーズによる「ハヴ・ユアセルフ・ア・メリー・リトル・クリスマス」「クリスマス・ソング」「サンタクロース・イズ・カミング・トゥータウン」そしてレス&ラリー・エルガート楽団による「グリーン・スリプス」を鑑賞しました。1940年代から'60年代

にかけてのスタイルの異なるビッグバンドでのクリスマス・ソングが楽しめました。

その他クリスマス・シーズンにマッチした松任谷(荒井)由実の曲をアルバム「MISSLIM」より歌詞の中にクリスマスという言葉が挿入されている「12月の雨」、「SURF&SNOW」より「恋人がサンタクロース」。この2曲のバックで流れるギター演奏を比較すると時代の流れを感じてしまうのは私だけでしょうか。

そしてスイス・モントルー・ジャズ祭の名を世界に知らしめたレス・マッキャン&エディ・ハリスによる1969年ライブ「Swiss Movement」よりノリノリながら徐々に高揚感を高めていくファンキーな曲「コンペアー・トゥ・ホワット」。レス・マッキャンがピアノのみならずソウルフルな歌を聴かせてくれました。

最後に1970年東京・内幸町のイイノホールで菅野沖彦の2tr/38cmのTAPE録音「ジョージ大塚トリオ」より「ホエン・アイ・フォール・イン・ラブ」「マイ・バック・ペーゼス」も鑑賞しました。

今回は休憩時間にコンサートの楽しみの一つである一期一会の「音楽談話、オーディオ談話」が有りました。参加者の方でいよいよ来年仕事をリタイアされるに合わせるオーディオシステムの話のグレードアップを考えているとの事。若い時には立派なシステムを持っていたのだが、現在の住宅事情によりウッドコーン・スピーカ付きCDラジカセになってしまい、久しぶりに本格的なオーディオを再び買い揃えるつもりでいるとの事でした。ジャズ好きのためドンシャリ音が好みだそうです。若い時に比べ年齢相応の聴力低下もあり何十万もするアンプと数万のアンプで聴き比べる音の違いが判らなシステム購入に困っているそうです。

暫くぶりのクリスマス特集も楽しいオーディオ談話で終わりましたが、サンタクロースのプレゼントでこの方にビューオーディオが届きましたでしょうか(笑)。

皆さんもレコードコンサートに気軽に参加し、音楽を聴きながらお喋りを楽しみませんか。



▲①Season's Greetings /山下達郎 ▲②Christmas Eve 2019 version/山下達郎 ▲③The Christmas Song /Nat King Cole ▲④The Christmas Song /Natalie Cole ▲⑤SILENT NIGHT with THE BIG BAND

第3回元住吉ミュージックフェスティバル 2024. 4. 6 (土)開催のMMF-2024では、当日の受付、会場案内などのボランティアスタッフを募集しています...

第3回元住吉ミュージックフェスティバル開催!! 4月6日(土)開催のMMF-2024では、当日の受付、会場案内などのボランティアスタッフを募集しています...

連載11

脱線ニューヨーク滞在記
前号からの続き

Demura Katsuaki
出村 克明

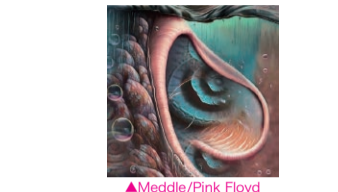
その口は菌もそうでしたがゴキブリが繁殖していてゴキブリとの闘いが始まりました。(NYでは日本で見るとゴキブリよりずっと小さいチャバネゴキブリが多い)最初は出て来たのを殺してしまいましたが、ゴキブリのアジトを冷蔵庫の裏に見え、攻撃しました、工具置場にあったガスバーナーを火炎放射器の如く扱いゴキブリに大きな損傷を与えました。が、床が燃え上がり焦りました。無事消化し、冷蔵庫を元に戻し戦いの場も見えなくなり、その後ゴキブリは見なくなりました。最高の口フトになりました。ロケーションも最高でそのブロックの角からウォール街の方を見ると突き当りに9・11で今は無き建築真最中のワールドトレードセンタービルがそびえたち他のビルを見下ろす姿は迫力があり壮観でした。上の方に霧がかかっていた時は凄すぎてカメラを取りに行くのもどかしく写真を撮りました。スライド仕様にしてましたけど、ポジフィルムの特長らしく着色剤がとんでしまいました(見せなかった)。

その口フトは菌もそうでしたがゴキブリが繁殖していてゴキブリとの闘いが始まりました。(NYでは日本で見るとゴキブリよりずっと小さいチャバネゴキブリが多い)最初は出て来たのを殺してしまいましたが、ゴキブリのアジトを冷蔵庫の裏に見え、攻撃しました、工具置場にあったガスバーナーを火炎放射器の如く扱いゴキブリに大きな損傷を与えました。が、床が燃え上がり焦りました。無事消化し、冷蔵庫を元に戻し戦いの場も見えなくなり、その後ゴキブリは見なくなりました。最高の口フトになりました。ロケーションも最高でそのブロックの角からウォール街の方を見ると突き当りに9・11で今は無き建築真最中のワールドトレードセンタービルがそびえたち他のビルを見下ろす姿は迫力があり壮観でした。上の方に霧がかかっていた時は凄すぎてカメラを取りに行くのもどかしく写真を撮りました。スライド仕様にしてましたけど、ポジフィルムの特長らしく着色剤がとんでしまいました(見せなかった)。

そんな頃見に行ったJAZZライブ。現在は無いですが、ロウアー・イースト・サイドにあったスラググスと云うクラブへ「サン・ラ・アークストラ」を見にいきました。サン・ラは古代エジプトの壁画にあるような被り物をして衣もそれに準じて見るかカリスマ然とし、大きな光っている玉が載っているピアノを前に座して演奏が始めると7、8人のメンバーがサクスを吹きながら客席の後ろから練り歩いて登場、そのメンバーが太鼓も叩きで大盛り上がり。目を引いたのは痩せてはいるが小柄の女性がストーンとした衣装をまといステージの端に立って上半身を少し

- パーカッション奏者
コンセプトアーティスト
現代アートでは空気、無を模して送る
エメールアドレスを展開している。

け動かしてるだけのダンスあるいは存在がサンラの音と融合して度肝を抜かれたステージでした。サン・ラ最高でした。因みにこの日の前後にトランペットの「リー・モーガン」がこのクラブで妻に射殺されました。高校生の頃新宿3丁目、末広亭の傍にあった「チェック」というジャズ喫茶で彼の「ザ・サイドワインダー」が擦れられるほど掛けられて、狭い店で何人もが踊ってました。コーヒ一杯で



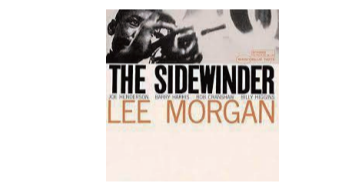
▲Meddle/Pink Floyd



▲The unanswered question /Charles Ives



▲Live In New York, 1973 /Sun Ra & His Arkestra



▲The Sidewinder/Lee Morgan

連載88

【くじら座】日記
小さな演奏家

Makino Kento

シンガーソングライター 牧野 憲人

最後の一枚をめくり、新しいカレンダーを壁に貼る作業をすすると、新しい年がやってきたことをようやく実感する。2024年は大きな結果を出す一年にしたいと願ひ、今やるべきことを羅列してみる。忙しい年になりそうだ。近年は「褒めて伸びる」と言う若者が増えたように感じるが、中堅の僕は全く逆で「厳しくされて伸びる」タイプである。もしくは、褒めていただけることがあっても、至らない点を自省したくなる習性を持っている。三十代も半ばが見えてくると、10年前よりも厳しく言われることが少なくなってきたと感じる。単純に、過去の自分よりも成長したということなら良いのだが、決してそうばかりではないだろう。そしてこれは、四十年代、五十年代、そして六十代と進めば進むほど、さらに言われなくなっていくものなのだろうと感じる。しかし、これから先も自分が目まぐるしく成長していくために

は、自分自身が誰よりも自分に厳しくなければならぬ。一つでも知識を身につけ、一つでも経験し、一つでも試行錯誤するのだ。僕よ、スマートフォンを触っていた場合ではない。音楽の学び直しを始めてから、丸2年が経過した。ここまでついでに生徒はあまりいない、と言われることが増えてきたが、ここから勝負だ。結局のところ音楽が好きということになると思うのだが、自分の中では「好き」ばかりではない。苦しくもあり、逃げたくもあり、しかしなぜか何度もここに帰ってきてしまう。好きとか嫌いとか、言葉で形容するのささどやでも自分より成長したということなら良いのだが、決してそうばかりではないだろう。そしてこれは、四十年代、五十年代、そして六十代と進めば進むほど、さらに言われなくなっていくものなのだろうと感じる。しかし、これから先も自分が目まぐるしく成長していくために

はいけない。つい難しいことを考えなくなるが、何より大切なのは好奇心である。僕よりもはるかに経験の少ない小さな演奏家から、僕は多くのことを学ぶのである。



連載69

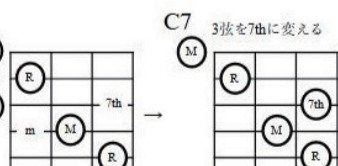
Course: Addicted to Guitar
CAGED(ケイジド)システム C型

Nagase Susumu
ブルースロックピン芸人 永瀬 晋

いつもお世話になっております。今月もギター始めたばかりの方への攻略コラムをお送りしていきたいと思ひます。今回は残り2つとなったCAGEDシリーズ「自力でコードを作る」第4弾の「CAGED C型」を進めていきます。今回のC型は正直コードをジャラーンと弾く場合はあまり使い勝手が良くありません。理由としては図を見ていただくとわかると思ひますが、物理的に押さえられない形になりやすいといふので、結果「D型」を使った方がいいよね」となりやすいところでしょう

か。ですがもちろん覚える利点もありまして、インターバルを覚えることでソロを弾いたり、オブリを弾くときに非常に役立ちます。覚えて損はないと感じてます!具体的に使いやすいメイナーが絡んできたときですが、考え方を考えればメジャー型であれば非常に使いやすいといふ捉え方もできます。かと言自前メジャーコードでは結構使いますので、Cのメジャーコードのバリエーションに特化して考えると、非常にピンポイントではありますが重要

ずと思ひます。(Cのコードは結構使用頻度高いですので)というわけでは非練習の際に混ぜて使ってみてください!これで残すは「G型」のみになりました!また次回!



1弦開放がMajなのでさらに半音下げるのは難しい為、Majのコードバリエーションで使うのがおすすめ

Souleave Music School logo and website information: http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分

MOTTON CLUB logo and text: 全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押しが目的です。